

令和3年度 第1回釜石市環境審議会議事録

- | | |
|-----------|--|
| 1. 開催日時 | 令和3年10月26日（火）午前13時30分～15時 |
| 2. 開催場所 | 釜石市役所 第4庁舎第7会議室 |
| 3. 出席委員 | 11名 小澤慶一委員、佐野孝委員、中井一広委員 佐々木光壽委員 大橋祐子委員、佐々木かよ委員、山口邦子委員、平田裕彌委員 千葉まき子委員、中馬慶子委員、佐々木敏行委員 |
| 4. 欠席委員 | 2名 千田 雅恵委員、高橋幸男委員 |
| 5. 傍聴人 | なし |
| 6. 事務局 | 5名 野田市長、和賀生活環境課長、小田島主幹、佐々木主査、菅野主事 |
| 7. 議題 | |
| (1) 報告第1号 | 令和3年度事業計画・経過報告について |
| (2) 議案第1号 | 釜石市環境基本計画策定について |
| (3) その他 | |

1. 開 会

○和賀生活環境課長が開会を宣言。

2. 釜石市長挨拶【要旨】

- ・今日は皆さん足元の悪いところ、そしてまた大変お忙しいところ環境審議会ということでお集まりいただきました。心からお礼申し上げさせていただきます。
- ・震災から10年経過いたしまして、皆さまからのご協力をいただきまして、なんとか復興の形が見えるところまでは終わりました。
- ・釜石市は水産業が基盤産業ですが、地球温暖化のために海流が変化し不漁が続いており、また台風などの自然災害が激甚化してきております。
- ・小さな町ではございますけども、やはりこの地球温暖化に市をあげて皆で協力していくことが、自分たちの町を守ることに繋がるというふうに思いまして、今回国の方針に倣って、釜石も脱炭素社会を目指すということで、ゼロカーボンニュートラルのゼロ宣言というものを出そうということで決意をしているところです。
- ・もうひとつの喫緊の課題はプラスチックごみの分別であり、国の方で新たな規制・制度を作っております。それに伴い徐々に当市も今までのようなにはいなくなっていきますので、是非そちらの方もご理解とご協力をお願いしたいと思っております。
- ・そうした計画を、令和3年と令和4年の2ヶ年かけて釜石の環境基本計画を作るということで準備を進めております。
- ・これが委員の皆さまの今期の最後の審議会ということになりますので、今日はそういった意味では今までの総決算でございますから、どうぞ忌憚ないご意見をいただきながら、今日の審議会が有意義な会になりますことをよろしくお願いしたいと思います。

3. 環境審議会会長挨拶【要旨】

- ・ 皆さんこんにちは。雨の中出席していただきましてありがとうございます。
- ・ 釜石はほとんど川と森と海に囲まれておりまして、自然豊かなところであります。私たちは釜石の町を築き上げた先人達の流れを継承していかなければいけません。市長からもお話がありました、このコロナ禍の中ではありますけども、世界的に力を入れて二酸化炭素の排出ゼロ、これを目指していくということなので、当審議会としても、是非、協力して取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いしたいと存じます。

4. 会議成立報告

和賀生活環境課長から、委員総数13名中、出席委員11名で過半数に達しており、釜石市環境基本条例第29条第2項の規定により、本審議会が成立している旨を報告。

5. 開催結果

- (1) 報告第1号：令和3年度事業計画・経過報告について ※別添ファイルのとおり了承
- (2) 議案第1号：釜石市環境基本計画策定について ※別添ファイルのとおり了承
- (1) 及び (2) までの報告・議案について、小田島主幹が資料に基づき説明し、和賀生活環境課長が補足説明を行った。その後、質疑応答及び意見交換を行った。

6. 委員からの発言・意見

(1) 報告第1号：令和3年度事業計画・経過報告について

【委員】10番のその他の再生可能エネルギー設備導入事業で釜石市からも導入家庭に補助を出すというような内容で書いてあるが、太陽光発電設備についてと限定して書いてある。しかしながら、太陽光パネルの廃棄の技術が確立されていないことや、山林を削って大規模に設置するなどを行うことで土砂災害の発生の危険性が上がるなど様々な問題を抱えている。そういう情報を得ながら市民にとって有効というか有利な方法を探っていくべきと思う。そういったことから太陽光発電に対して市がお金を投資することに対して私は不安を抱えたまま見ている。もっと他の方法があったらぜひそれも検討の余地に入れていただきたい。

【事務局】ご意見ありがとうございます。検討したいと思う。

【委員】あともう一点気になっていることがあって、まだ特に何かが起きているからということではないが、9番の水道未普及地域対策事業のちょっとこれからお話が外れてしまっても大変申し訳ないが、今水道事業の見直しが全国的に行われていて、外部に委託して宮城県なんかは今そういう方向で進んでいると聞いている。私は外部に元々出して丸投げしてしまうのは大反対で、出来れば他自治体の良い事例を取り入れながら釜石市も先進的にそういうことを取り組めるようになったら嬉しいなと思っていて、ぜひ釜石市としてはそういう取組みを検討していただけないかなと思う。

【事務局】ご意見ありがとうございます。

(2)議案第1号：釜石市環境基本計画策定について

【委員】水生生物は小学生が学んでいるが、おそらくなんでこの水が綺麗というか大事かとか、水を綺麗にするためにはどんなことをしたら良いかってことまで多分やってたと思うが、それと同じように、子供たちに一度ではなくて何回か学年1年に1回でもなんでもごみ問題が関係あるか、そういうのを子供たちの方にちゃんと教えて自分たちが大人になった時に大変な時代が来るんだよっていうことを、きちんと教えていってほしいなというふうに思う。

【事務局】貴重なご意見どうもありがとうございます。確かに子供の教育、子供さんから始めるというのは家庭でも非常に大きなことだと思う。今回のゼロ宣言をするという狙いにはそれも実はある。私たち市民一人ひとりが小さいことに取り組むことが、大きな成果になるというのを、考えるきっかけにさせていただきたいと思っている。まずは身近なところからそういう活動を進めていきたいと思う。釜石には平田に岩手沿岸南部クリーンセンターという非常に日本でも素晴らしい施設があり、そこのごみ処理というのは、最終処分に出すごみの量が少なくて済み、電力発電もしているということで、非常に今の再生可能エネルギーという部分では大きな役割を果たしていると思う。地球環境にも非常に良いというところなので、もっとそれを子供たちも理解していただきながら、我々も釜石はそういう取組みもしているんだよということをPRしながら進めていければと思う。本当に貴重なご意見ありがとうございました。